

## 両子の唄

平成12年2月19日 Sei 作詞・作曲

(両子寺境内、能村登四郎句碑開眼式のために作詞作曲)

足曳の山のふもとの  
せせらぎやさしい<sup>里</sup>は  
すこやかに子らの生まれて  
育まれ生い立つところ  
とこしえの懐かしの地よ  
ああ両子よふるさと両子よ

年月の経てど変わらぬ  
しずけさをまとう麓よ  
幼い日ともに遊んだ  
この寺にいしづみ建ちて  
未来へと時を刻まん  
ああ両子よふるさと両子よ

ゆるやかな時の流れに  
人びとの厚い情けは  
脈々とこの地に根づく  
くにさきの仏の里に  
継がれゆく慈愛のこころ  
ああ両子よふるさと両子よ

すぎゆきの無窮の中に  
刻まれた仏のこころよ  
いしづみをともに仰いで  
ふるさとを守りてゆかん  
新しい時代へ歩まん  
ああ両子よふるさと両子よ

# 両子の唄

作詞 田辺警司  
作曲 田辺警司

The musical score is written in 4/4 time and consists of ten staves. The first staff is a blank treble clef. The second staff contains the melody with lyrics. The third staff is a blank treble clef. The fourth staff contains the accompaniment. The fifth staff contains the melody with lyrics. The sixth staff is a blank treble clef. The seventh staff contains the melody with lyrics. The eighth staff is a blank treble clef. The ninth staff contains the melody with lyrics. The tenth staff is a blank treble clef.

し ひき の やま の ふもと の せせら  
ぎの おとす る さと は す  
こ やか に こら の うまれ て はぐく

まれ おい た つとこ ろ と

こ しえ の なつ か しのち よ あ

あ ふた ご よ ふる さ とふた ご よ

Coda



